

令和 4 年度
6 月補正予算主要事業の概要
(事業別説明資料)



目 次

(環境水道部)

新規 住宅用太陽光発電設備等の設置に対する支援	3
---	---

(農林部)

拡充 全国和牛能力共進会鹿児島大会の応援	4
--	---

(商工観光部)

新規 安峰山来訪者の安全性確保	5
---	---

新規 住宅用太陽光発電設備等の設置に対する支援

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
3,050	県補助金	3,050	補助金	3,050
（現計予算 0）				

2 事業背景・目的

市では、令和4年3月に発表した「飛騨市ゼロカーボンシティ宣言」において、脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者・行政が連携して地球温暖化対策に取り組み、2050年までに本市のCO2排出量実質ゼロを目指すことを表明しました。

環境省が公表する自治体排出量カルテによれば、市内のCO2排出量の16%を家庭部門が占めており、脱炭素化を目指す上ではこまめな節電など市民レベルで取り組める省エネ行動の積み重ねが欠かせません。また、自然・生活環境や景観上の懸念から市内での大規模太陽光発電等の立地は推進しない方針としていますが、頻発・激甚化する自然災害やエネルギー価格高騰への対応等、家庭用再エネ設備導入の有効性が高まっています。

そこで、自家消費型の太陽光発電の普及促進と災害レジリエンスの強化を図るため、個人住宅への太陽光発電設備等の設置を支援します。

なお、岐阜県が県内の太陽光発電設備の普及促進を強力に後押しするため、国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用して、太陽光設備の普及・導入に意欲的な市町村及び事業者への支援事業を検討しており、これを活用する見込みです。

3 事業概要

○対象事業

飛騨市民が市内に所有し、自らが居住する住居への太陽光発電設備及び蓄電池の設置

○補助金額

- ①太陽光発電設備（※1） 7万円/kW・上限5kW（最大35万円）
- ②蓄電池（※2） 蓄電池の価格（工事費込み・税抜き・上限15.5万円/kWh）の3分の1
・上限5kWh（最大25.5万円（①②合計60.5万円））

※1 FIT/FIP制度（固定価格買取制度等）及び自己託送（他所設備への送電）を利用するものを除く

※2 太陽光発電設備と同時に設置する場合に限る



担当課：環境水道部環境課（☎0577-73-7482） 予算書：P. 16

拡充 全国和牛能力共進会鹿児島大会の応援

1 事業費（単位：千円）		【財源内訳】		【主な使途】	
	1,720	ふるさと納税	1,720	補助金	1,680
				消耗品費	30
（現計予算	761）			施設使用料	10

2 事業背景・目的

全国の優秀な和牛を5年に一度、一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う「全国和牛能力共進会」が令和4年10月6日から10日までの5日間、鹿児島県霧島市（種牛の部）及び南九州市（肉牛の部）で開催されます。この大会に向けこれまでに岐阜県内では9回の審査会により、候補牛が絞られてきており、種牛の部は7月5日、肉牛の部は8月30日に最終審査会を残すのみとなっています。

5年前の宮城大会では他県と比較し、現地での岐阜県代表への応援が少なかったことから、今回の鹿児島大会では飛騨三市一村が連携して、各種団体を巻き込んだ市民応援団を結成し、応援ツアーとして現地で応援することで、大会及び岐阜県代表を盛り上げます。

また、本大会前には、応援ツアーへの参加を考えている市民の方を対象に飛騨牛や全国和牛能力共進会に関する勉強会を開催し、大会を盛り上げるための気運醸成を図ります。

3 事業概要

①【新規】全国和牛能力共進会にかかる市民応援団ツアーへの参加支援（1,680千円）

岐阜県代表の出品牛を応援するツアー参加者へ、旅費の一部を支援します。

ツアー概要：全国和牛能力共進会が開催される鹿児島県霧島市へ2泊3日のツアー

参加者数：20名を予定

期 日：大会会期5日間のうち他の飛騨圏域の応援団等と日程調整し、決定します

補助金額：旅費の1/2（上限84,000円）

②【新規】「飛騨牛」勉強会の開催（40千円）

飛騨牛の食事を楽しみながら、飛騨牛や全国和牛能力共進会に関する基礎的な講義や農家の方の体験談のほか、飛騨牛と他の牛の違いを試食を交えながら紹介する勉強会を夏頃に開催します。

対 象：主に応援ツアーへ参加予定の方 20名

参加費：飲食代（3,000円程度を想定）

担当課：農林部畜産振興課（☎0577-73-0152） 予算書：P.17

新規 安峰山来訪者の安全性確保

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
3,000	県補助金 1,500 ふるさと納税 1,500	工事請負費 3,000
(現計予算 0)		

2 事業背景・目的

安峰山は車で気軽に山頂まで上がることができ、山頂の展望台からは古川盆地や御嶽、白山連峰、白木ヶ峰を一望できる展望スポットです。年々来訪者が増加する中、特に秋の雲海シーズンでは展望駐車場が満車となり、林道への路上駐車が多発しているため、混雑回避と安全性確保に向け新たな駐車場の整備が求められています。また、展望台のウッドデッキについても板床やコンクリート基礎の老朽化により予防的な補修が必要な状況にあることから、秋の雲海シーズンに向け、駐車場整備及び展望台補修を行い、来訪者の安全性向上を図ります。

あわせて、今後も大切な地域資源として、市民や観光客に認知され、更なる来訪者の拡大に繋がるようPRを強化するとともに、地元関係者（安峰山林道管理組合他）と連携し新たな魅力発掘にも取り組んでいきます。

3 事業概要

① 新たな駐車場の整備（1,500千円）

路上駐車対策として新たな駐車場を整備します。なお、駐車場は15台程度の駐車スペースを確保し、排水対策を講じた上で砕石により整地します。

② 展望台ウッドデッキ補修（1,500千円）

県の補助金を活用し、安峰山展望台ウッドデッキの張替及びコンクリート基礎に生じた亀裂等の補修を行います。



担当課：商工観光部まちづくり観光課（☎0577-73-7463） 予算書：P. 18
農林部林業振興課（☎0577-62-8905） 予算書：P. 17